

唐津の祭り⑤季節の祭り（1/2）

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

祭りは、かつて多くの集落で伝承されてきたが、さまざまな事情で廃絶した祭りも少なくない。それは集落の歴史とも密接な関係があり、便宜上ここでは大きく3つに分けた。

■おんじゃおんじゃ（唐津天満宮）1月7日

江戸時代から伝承され、新春の1月7日に行なわれる「鬼すべ」の行事。長さ10m、直径1mの青竹を束ねて作った大松明を担いで「鬼じゃ鬼じゃ」のかけ声をかけながら、氏子町内を巡り、唐津天満宮に向かい境内に積まれた門松や注連飾りに点火して、悪霊とともに焼き払って1年間の無病、家内安全を祈るもの。

■厄神祭（灰振りまつり）（湊八坂神社）2月11日

神功皇后が朝鮮出兵の折、天候不順で船が進められず、榊の灰をまいたところ霧が晴れたという故事に由来する伝統行事。氏子で41歳になる厄年の男性が参拝者に灰を振りかけ、灰をかけられた人は1年間無病息災で過ごせると言われ、厄年の男女が多く参拝する。

■呼子大綱引（土・子ども綱/日・大人綱）（呼子町大綱引き振興会）6月第1土・日

豊臣秀吉が文禄・慶長の役で名護屋城に陣を構えていた400年ほど前、兵の士気を鼓舞するために加藤清正と福島正則の陣営を東西に分け、軍船のとも綱を使って綱引きをさせたのが始まりといわれる。呼子の町を岡組と浜組に分け、ドラと火矢を合図に老若男女が直径15cm、長さ400mの大綱を引き合い、岡組が勝った年は豊作、浜組が勝った年は大漁になるといわれる。

■増田神社夏祭り（肥前町増田神社）7月26日

コレラ防疫活動中に25歳という若さで殉職した「警神」増田敬太郎巡査を偲ぶ祭。

日本でただ1つ警察官を祀った神社で、大漁旗を翻しながら数多くの漁船が湾内をパレードするほか、警察音楽隊や巡査を型取ったみこしが練り歩く。

～2/2へつづく～



おんじゃおんじゃ



増田神社夏祭り

（唐津市フォトライブラリーより）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆唐津観光協会HP
- ◆共同通信PRワイヤーHP
- ◆『鎮西町史』
- ◆『肥前町史』
- ◆『警神』HP

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

唐津の祭り⑤季節の祭り（2/2）

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

～1/2からつづく～

■田島神社夏祭り（呼子田島神社）7月29・30日

邪心を祓い、風水害、悪疫退散を願い行われる祭。1日目は御神幸が社殿を出て町内を巡回し御暇屋まで行列する御浜降祭。2日目が御暇屋から社殿へ戻る還御祭となる。

■海中盆綱引き（鎮西町波戸）8月15日

豊臣秀吉が文禄慶長の役の際に、将兵の慰安と戦没者の盆供養を兼ねて、海中で綱を引き合ったのが始まりだといわれる。参加する若者達は「どんざ」と呼ばれる着物をまとい、太鼓の合図で海へ駆け込み、長さ35m、直径40cmの大綱を掛け声とともに引き合う。大綱の元来の材料のわらを集めるのが困難になり、現在は平成15年化繊でできた丈夫な綱を用いて行う。

■亥の子綱引き（鎮西町石室神社）11月第2土曜

昭和35年頃、一時途絶えていたが、昭和49年に再開される。現在は、実行委員会、保存会が組織され区長を中心に行われる。綱は農業用の縄を60～90本よりあわせて3本の縄を作り、それをより合わせて100m程の長さになる。最終バス通過後、県道を使う。中央に祭壇を設けて神事を行い、その後上組と下組に分かれ、花火を合図に3回引き合う。近郊からの見物人も多く屋店などで賑わう。



海中盆綱

（『唐津探訪』より）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆唐津観光協会HP
- ◆共同通信PRワイヤーHP
- ◆『鎮西町史』
- ◆『肥前町史』
- ◆警神HP

◎エピソード・伝承・うんちく など

■綱引きといえば鎮西・呼子

盆綱引きは、8月15日に馬渡・串・波戸でも行われ、盆踊りの前後に綱引きが行われる。いずれも、名護屋城下陣屋に集まった将兵たちの海遊びから、士気を高めるために始まったとされているが定かではない。

■神様になった「お巡りさん」～警神～増田敬太郎

入野村高串に赴任したのが、明治28(1895)年7月21日、コレラ伝染を防ぐため患者の家を消毒、縄を張って交通路を遮断、運ぶものがない患者の遺体を一人で運び埋葬。3日後にコレラに感染して死亡。村人は増田巡査の石碑を建立し、病氣平癒の参拝者があとを絶たなかった。増田の死後10年目には神殿が建てられた。昭和11(1936)年、増田神社の社殿が改築され、元あった秋葉神社が合祀される。昭和15(1940)年、佐賀県防犯報国連合会から「巡査大明神」の扁額を掲げた鳥居が寄進される。こうして増田巡査は神に祀られることになった。日本では他にみられない。

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html